

まちの話題

健康づくりと防犯対策を学ぶ

黒坂1区ぼかぼか教室

町が行っている介護予防教室「ぼかぼか教室」が、12月10日、黒坂1区集会所で開かれ、黒坂1区の住民10人が参加しました。

今回は、血圧などの健康チェックのあと、黒坂警察署職員の「黒パト劇団」による、振り込め詐欺防止のための寸劇が行われました。これは、詐欺グループが高齢者の



詐欺の手口を知ることが、被害を防ぐ第一歩

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。
★役場企画政策課まで（電話7210332）

家に電話をかけ、「年金の還付金がある」と、言葉巧みに現金を振り込ませようとする場面を劇にしたもので、笑いを織り交ぜながら参加者に分かりやすく演じられました。そのあと、振り込め詐欺に遭わなかった話の話し合いもありました。参加者は、実際に詐欺の電話がかかってきた時の体験を話したり、熱心に質問をしたりと、身近に起こりやすい犯罪の対処方法などを学びました。

「ぼかぼか教室」参加者募集年間を通して介護予防に取組み、楽しく気軽にできる「ぼかぼか教室」の参加団体を募集します。

内容 筋力向上（ゴムチューブを使った簡単な体操）、作品製作、歯磨き指導など

対象 おおむね5人以上のグループ（友達・老人クラブ・自治会など）

場所 集会所など、体操などができる場所

料金 材料費のみ実費

日程 責任者の人と調整して希望の日などを決めます

問合せ・申込み 役場健康福祉課

（電話7210334）

心震わす太鼓の響き

和太鼓コンサート

12月14日、町文化センターで、第5回サロンコンサート「響け和太鼓」が開かれました。

出演したのは、米子市などで活動している和太鼓のアマチュアグループ「十八太鼓」のメンバー10人。ホール内の空気を震わすような迫力の音色を響かせながら「昇龍」など5曲を披露し、観客も熱心に聞き入っていました。

また、コンサートには金持青年会も特別参加し、金持神社名物の獅子舞を披露、観客の健康や開運を願いながら迫力の舞を見せていました。



福祉施設での演奏が主な活動の場という十八太鼓

僕らが育てたお米です

根雨小児童もち米をプレゼント

お世話になった地域の皆さんへお返しの気持ちを表そうと、根雨小学校の児童が、町内2か所へもち米を贈りました。

贈られたのは、根雨小学校近くの水田で児童らが育てて収穫したヒメノモチ20kg。それを10kgずつ2つの袋に分け、介護老人保健施設おしどり荘（根雨）と、町社会福祉協議会（黒坂）へ児童代表が届けました。

代表の2人は、「根雨小学校の児童が育てたもち米です。みんなでおいしく食べてください」と話しながら手渡していました。



元気で新年を迎えてほしいとプレゼント

差別に立ち向かって

人権作文コンテスト



差別に負けない心を書いた西村さん(右)

平成20年度全国中学生人権作文コンテスト鳥取県大会(鳥取県方法務局、鳥取県人権擁護委員連合会主催)で、日野中学校3年の西村美香さんの作文が奨励賞に選ばれ、12月19日、日野中学校で表彰式が行われました。

西村さんは、「受賞はとてもうれしい。みんなも差別に立ち向かってほしいという気持ちで作文を書きました」と話しました。



元気で冬を過ごしてね

五色のもちをプレゼント

日野国際交流協会

12月15日、日野国際交流協会(小谷博徳会長)が、ひのっこ保育所へもちをプレゼントしました。

贈られたのは、同協会の会員が作った、野菜を使った五色のもち200個で、園児らに「このおもちの色は何でしょう」と尋ねると、紫色は紫いも、黄色はかぼちゃ、緑色はほうれんそうなど、恒例になったもちのプレゼントにすぐ答えられるようになっていました。

保育所の長谷川所長が、さっそく今日のおやつにいただきましょう」と話すところ、園児も歓声を上げ、お礼にと、あわてんぼうのサンタクロースの歌を合唱していました。

地域の見守り活動が評価

地域づくり総務大臣表彰



昨年12月、東京都内での表彰式で

全国で、それぞれの地域づくりに貢献する団体や個人を表彰する、「平成20年度地域づくり総務大臣表彰」を、根雨の(有)安達商事(安達享司代表取締役)が受賞しました。

これは、同社が行っている車を使った移動販売が、高齢者の安否確認など、地域に密着した見守り活動につながっていることなどが評価されたもので、民間団体では初めての受賞となりました。

この移動販売は、4台の販売車を使って、日野町をはじめ、江府町、伯耆町の3町で行われています。安達代表取締役(写真)は、「高齢化が進んでいる中、交通手段のない人たちに食料品・必需品を販売するために移動販売を続けてきました」と話します。

また、「官民が一体になって地域づくりに取り組まなければいけない。これからは人と人とのつながりを大事にして活動を続けたい」と抱負を語りました。

今年も良い年に

金持神社初もうで

2009年の幕開けとなった1月1日から正月にかけ、町内の神社や寺などに多くの人が初もうでに訪れました。

町の観光の目玉、金持神社(金持)も、町内をはじめ県内外から延べ6000人の参拝客でにぎわい、開運・金運や家内安全を祈願したり、お守りやお札などを買い求める姿が見られました。

金持神社の札所では、大みそかの夜から温かいそばなどの屋台も出店、参拝客の冷えた体を温めていました。また、元旦の朝には、境内で金持青年会による恒例の獅子舞も披露、参拝客も獅子に頭をかんでもらい、縁起の良い年始を過ごしていました。



縁起を求め、境内に多くの人が